

Y15a

クラウドファンディングを利用した天文学普及事例の報告

岡島礼奈（学術コミュニケーション支援機構）、高梨直紘、内藤誠一郎（学術コミュニケーション支援機構/天プラ）

宇宙図普及プロジェクトでは、昨年リリースされた「一家に1枚宇宙図 2013」の普及のため、クラウドファンディングの仕組み（READYFOR?）を利用して一般からの資金を調達し、2013年10月に全国すべての小・中・高校 38,468校、および科学館・博物館の 2,789 団体に無料配布を行った。

クラウドファンディングは、欧米を中心にスタートしたインターネットを利用した小口寄付を募る仕組みで、不特定多数の人からインターネットを経由して小額の寄付（ ）を集めることができるものである。

本発表では、我々が宇宙図の普及のためにクラウドファンディングを利用した経験を報告する。開始前の調整や途中の試行錯誤などの苦労した点に加え、どのような形で寄付を伸ばすことができたのか等、今後同様の目的でクラウドファンディングを利用する際の参考となる情報を提供したい。

日本の税制では寄付という扱いができないため、実際は金額に応じた商品を用意し、商品購入という形式となっている。